

令和2年度 第3回 評議会の概要報告

開催日	令和3年1月15日（金）14：00～15：30（Zoomによるオンライン開催）
開催場所	みなとみらいグランドセントラルタワー9階 神奈川支部内会議室
出席評議員	伊東委員、澤田委員、鈴木委員、永野委員、中村（孝）委員、中村（文）委員、早坂委員、檜垣委員（五十音順）
議題	<p>(1) インセンティブ制度に係る令和元年度実績について</p> <p>(2) 令和3年度保険料率について</p> <p>(3) 令和3年度事業計画について</p> <p>(4) 令和3年度支部保険者機能強化予算について</p> <p>(5) その他</p>
議事概要 (主な意見等)	<p>議題1. インセンティブ制度に係る令和元年度実績について</p> <p>事務局より議題1について説明</p> <p>【事業主代表 A】 コロナウイルスの影響が大きく、正常な状態ではないと思われる。インセンティブ制度の令和元年度実績は令和3年度の保険料率に反映しなくてもよいのではないか。</p> <p>【被保険者代表 A】 被保険者が、保険料率が下がるというメリットを享受するためには、神奈川支部などの大規模支部がインセンティブを獲得しづらい現行の仕組みを見直す必要があると考える。</p> <p>【議長】 神奈川支部がインセンティブを獲得しづらい要因として考えられることはあるか。</p> <p>【事務局】 神奈川支部など加入者が多い支部は、特定健診受診率、特定保健指導実施率をはじめとした保健事業の実績をあげにくく、結果として保健事業に関する指標が評価の中心となっているインセンティブ制度において総得点の順位が低くなる傾向にある。</p>

【事業主代表 B】

加入者が多い支部はインセンティブ制度における順位が上がりにくい。加入者数に応じた支部のグループ分け等を導入して評価を行うことはできないか。

【議長】

インセンティブ制度の仕組みについては、再検討の余地があると思う。

【事務局】

インセンティブ制度については、評価指標の見直し等について今年秋ごろまでに検討が行われる予定である。神奈川支部評議会においても、インセンティブ制度のあり方等に関する議論をいただく予定である。

【被保険者代表 B】

特定保健指導の実施率を向上させる策として、保健師が事業所に訪問する日にちを複数日設けるなど、対象者のニーズに合わせた指導を実施してはどうか。

【学識経験者 A】

東京支部は、指標 1（特定健診実施率）の順位が首都圏 4 支部の中では高くなっている。この点について神奈川支部とどのような違いがあるのか。

【事務局】

現段階では、東京支部の特定健診実施率が高い理由はつかんでいない。今後、分析を進め、分かり次第お示ししたい。

【議長】

インセンティブ制度については、引き続き議論していくこととしたい。

議題 2. 令和 3 年度保険料率について

事務局より議題 2 について説明

【被保険者代表 A】

コロナウイルス感染拡大の影響により事業所の倒産が増加する可能性があり、保険料収入が減少することが予想されるが、神奈川支部としての対策は検討しているか。

【事務局】

神奈川支部の加入事業所は中小企業が多く、コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受ける可能性はあるが、保険料収入が実際にどの程度まで減少するかは不明であり、現時点では、特に具体的な対策は講じていない。

【被保険者代表 A】

神奈川支部の加入者一人当たり医療費が、首都圏の他の支部以上に増加している主な要因は何であるか把握していればご教示いただきたい。

【事務局】

他支部以上に加入者一人当たり医療費が増加している明確な要因は残念ながらつかめていない。今後、さらに分析を進め、要因を調べていきたいと考えている。

【事業主代表 A】

事業者の立場として、コロナウイルス感染拡大の影響がいつまで続くのかの見通しが立たず、廃業や倒産に追い込まれる事業者が増えている現状においては、保険料率が上昇することを受け入れるのは困難である。

健康保険料率については、令和2年度の保険料率を維持していただきたい。

また、医療費分析では、神奈川支部では幅広い年齢層において医療費が増加している点や、近隣支部との違いについて踏み込んだ分析をお願いしたい。またその結果を踏まえた対策を講じるべき。

【被保険者代表 B】

被保険者としては、賞与の減額も予想されるため、保険料率の上昇は避けていただきたいと考える。

【議長】

コロナ渦の中、事業主の負担能力にも限界があるため、保険料率の上昇は避けたいと考える。

【議長】

この議題は本評議会における審議事項であるため、評議会の意見を添えて支部長が理事長へ意見の申し出を行うこととなる。

「新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのかの見通しが立たず、廃業や倒産に追い込まれる事業者が増えている現状では、事業主の負担能力にも限界があり、標準賞与額の落ち込みも予想される。そのため、事業主、被保険者の双方において、保険料率が上昇することを受け入れるのは困難である。健康保険料率については、上昇（引

き上げ)を回避していただきたい。」を評議会の意見としたいがよいか。

【評議員】

異議なし。

議題 3. 令和3年度事業計画について

事務局より議題3について説明

【被保険者代表 C】

生活習慣病予防健診の契約健診機関が少ない地域において集団健診(検診車)を案内するとのことだが、具体的にはどの地域を指すのか。また、集団健診はその地域で複数回実施するのか。集団健診における受診者数は何人くらい見込まれるのか。

【事務局】

県西や県央の契約健診機関が少ない。集団健診は各契約健診機関で企画しており、複数回実施している機関が多い。受診者数は施設内の受診者数と合わせたもので報告を受けているため、集団健診のみの受診者数は把握していない。

【被保険者代表 B】

特定健診とがん検診を同時に受診できる機関の情報を提供することだが、リーフレット等を事業所経由で被扶養者に配布すれば受診率が上がるのではないか。事業所として受診率向上に寄与したいと考える。ぜひ検討していただきたい。

【事務局】

特定健診の受診について、被扶養者にどのように効果的な勧奨を行うかという点が大きな課題となっている。事業所経由の案内等については今後検討していく。実施の際はぜひご協力願いたい。

【学識経験者 B】

ジェネリック医薬品の使用促進の広報を行う際に、ジェネリック医薬品を使うことのメリットを伝えるだけでなく、加入者がジェネリック医薬品について深く理解できるように広報をしていただきたい。

また、あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費の適正化の推進について、審査を強化し不適切な使用をなくすことで、医療費の適正化を図っていただきたい。非常に良い取組だと思うので、確実に実施していただきたい。

【議長】

この議題は本評議会における審議事項である。「令和3年度神奈川支部事業計画(案)」について承認してよいか。

【評議員】

異議なし。

議題 4. 令和3年度支部保険者機能強化予算について

事務局より議題4について説明

【事業主代表 A】

保険料率が上昇するのであれば、保険者機能強化予算だけではなく、人件費などの一般経費についても説明が必要ではないか。

【議長】

この議題は本評議会における審議事項である。「令和3年度神奈川支部保険者機能強化予算(案)」について承認してよいか。

【評議員】

異議なし。

議題 5. その他

事務局より議題5について説明

委員からの質問等はなし。

特記事項

- ・傍聴者 なし
- ・次回開催 令和3年7月